

オーバードアR ・ワイドオーバードアR

取付説明書 — 開戸柱 —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等への危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- 門扉は人や車が出入りするためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 柱から基礎端部までの距離が50mm~150mmになる場合には補助アンカー **オプション** を使用してください。
- 床材にインターロッキング等を使って、柱の埋込深さが300mm以下になる場合には柱延長金具 **オプション** を使用してください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>



注意

- 門柱は、垂直を出してから固定してください。
- 門柱の基礎は、基礎下に100mm厚のぐり石を施工して水が抜ける構造にしてください。
- やむをえず水が抜けにくい構造になった場合はGL面より5mm程度上部の柱側面内側にφ5の水抜き孔をあけてください。
- 寒冷地では、門柱にφ5の水抜き孔をあけてください。
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。
- 落し棒受けの取付位置はオーバードアR開戸本体(D326)、ワイドオーバードアR開戸本体(D339)の取付説明書を参照してください。

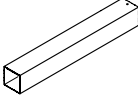
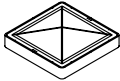

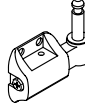
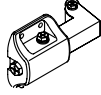



<基礎工事について>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食の原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 埋込柱内部にモルタルやコンクリートなどが入ったり、水が溜まらないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。

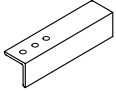

■ 梱包明細表

① 門柱セット 開戸用

名 称	略 図	員 数
吊元門柱		1
門柱キャップ		1
調整金具上		1
調整金具下		1
吊元ストッパー		1
ワッシャー		2
①-① M5×12トラスネジ		8
①-② M5×10トラスネジ		4
取付説明書	—	1


② 柱延長金具セット

オプション

名 称	略 図	員 数
柱延長金具		1
②-① M5×15ナベネジ		3

③ 補助アンカーセット

オプション

名 称	略 図	員 数
補助アンカー		1

1. 基本寸法図 ※図は、H10の場合を示します。

1-1 オーバードアR開戸の場合

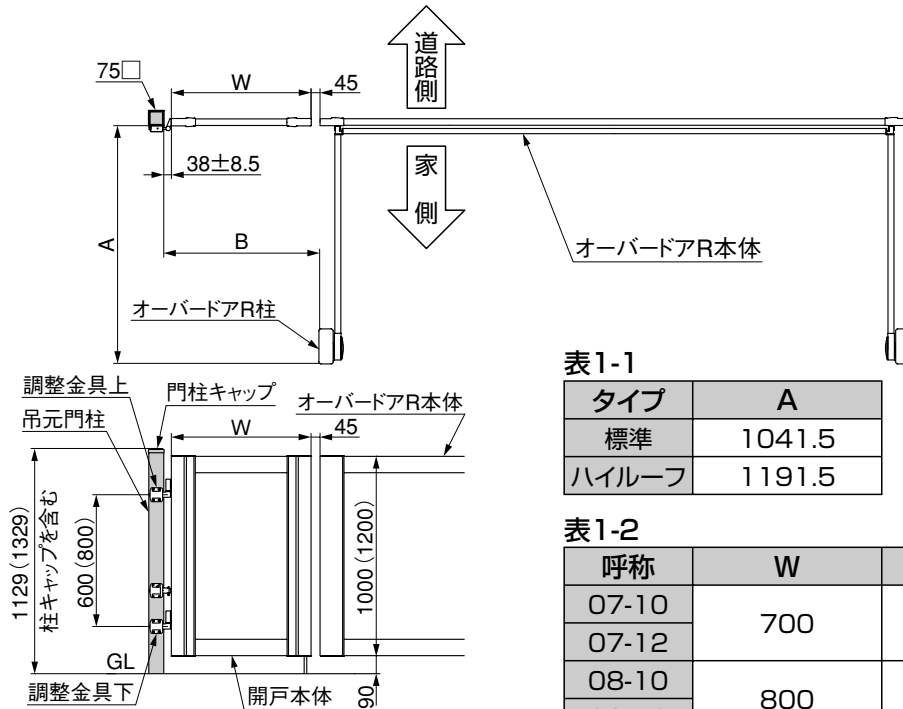


表1-1

タイプ	A
標準	1041.5
ハイルーフ	1191.5

表1-2

呼称	W	B
07-10	700	781
07-12		
08-10	800	881
08-12		

補足

- () 内寸法はH12の場合を示します。

1-2 ワイドオーバードアR開戸の場合

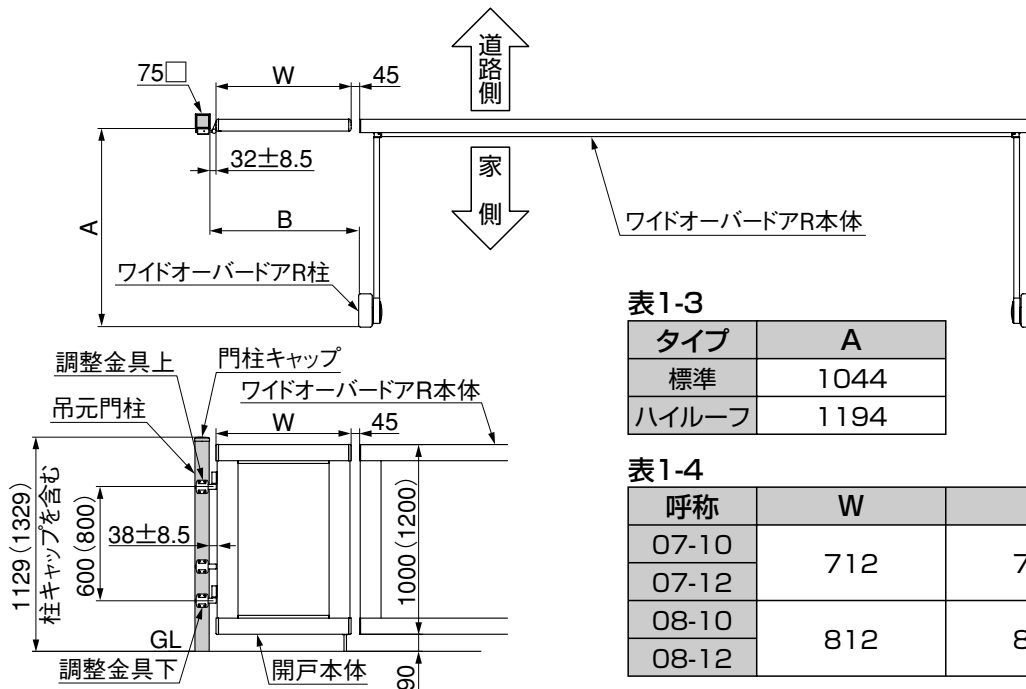


表1-3

タイプ	A
標準	1044
ハイルーフ	1194

表1-4

呼称	W	B
07-10	712	787
07-12		
08-10	812	887
08-12		

補足

- () 内寸法はH12の場合を示します。

2. 吊元門柱への調整金具と吊元ストッパーの取付け

- 2-1 調整金具の左勝手の組替え ※調整金具は右勝手にセットしています。
必要に応じて勝手の変更をしてください。

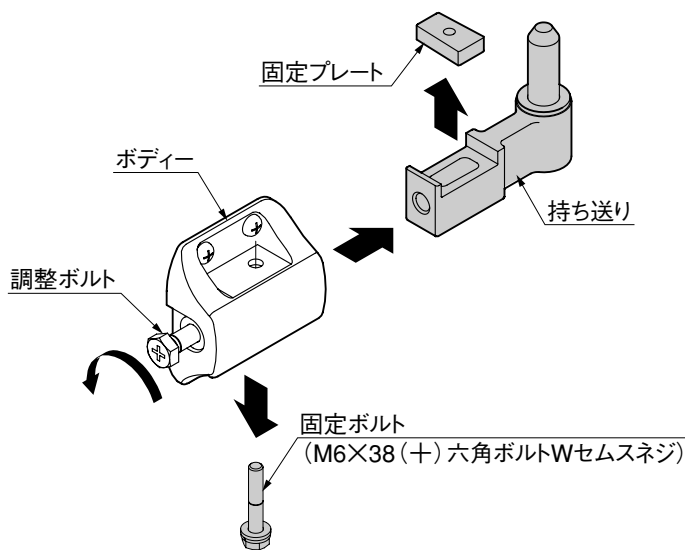


図2-1 右勝手

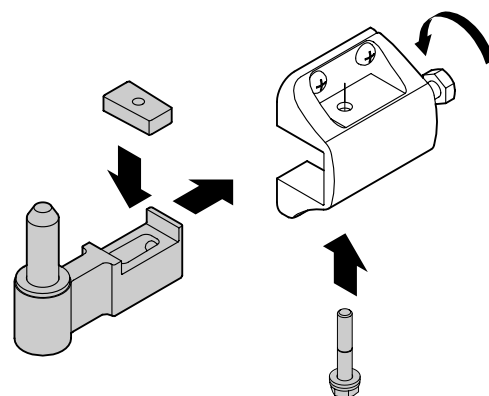


図2-2 左勝手

- ① 「固定ボルト」を外してください。
- ② 調整ボルトをゆるめて持ち送りと固定プレートを外してください。
- ③ ボディの向きを変え、持ち送りに固定プレートを乗せてボディに挿入してください。
- ④ 調整ボルトを締めてください。
- ⑤ 「固定ボルト」を締め、持ち送りを固定してください。

2-2 吊元ストッパーの向き

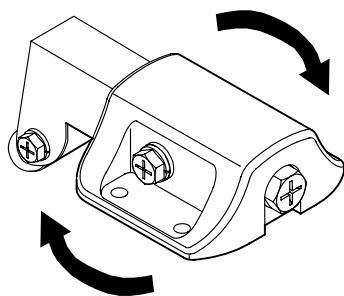


図2-3 吊元ストッパー右勝手

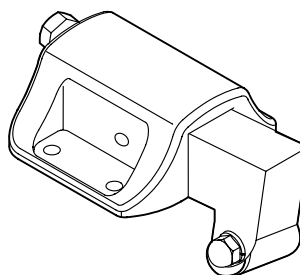
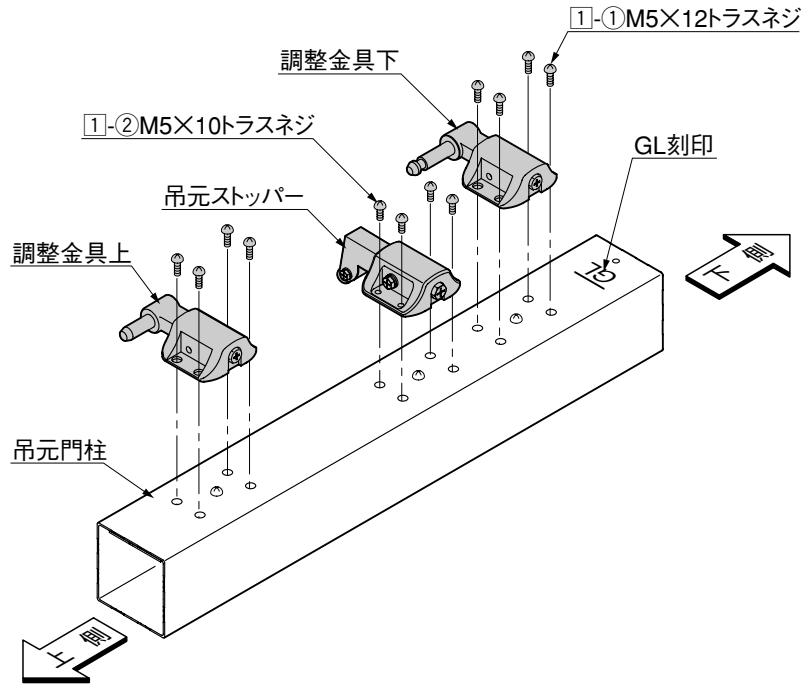


図2-4 吊元ストッパー左勝手

ポイント

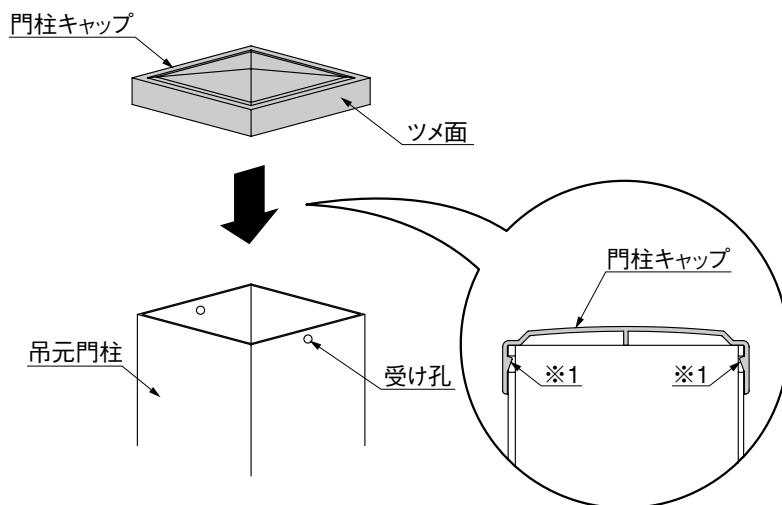
- 吊元ストッパーは、組替えをせずに天地をひっくり返して組付けてください。(図2-3参照)

2-3 調整金具と吊元ストッパーの取付け ※図は右勝手を示します。



- ① 吊元門柱に調整金具上と調整金具下を ①-①で固定してください。
- ② 吊元ストッパーを ①-②で固定してください。

3. 門柱キャップの取付けと柱の施工



- ① 門柱キャップのツメと吊元門柱の受孔がある面を合わせて、上から門柱キャップを押し込んでください。

ポイント

- 確実にツメが引っ掛かるように押し込んでください。(※1)
- ② 門柱キャップを引っ張っても門柱キャップが抜けないことを確認してください。
 - ③ 基本寸法図に従って柱を施工してください。

4. 補助アンカー、柱延長金具の取付け

オプション

4-1 補助アンカーを取付ける場合

(1) 吊元門柱の加工

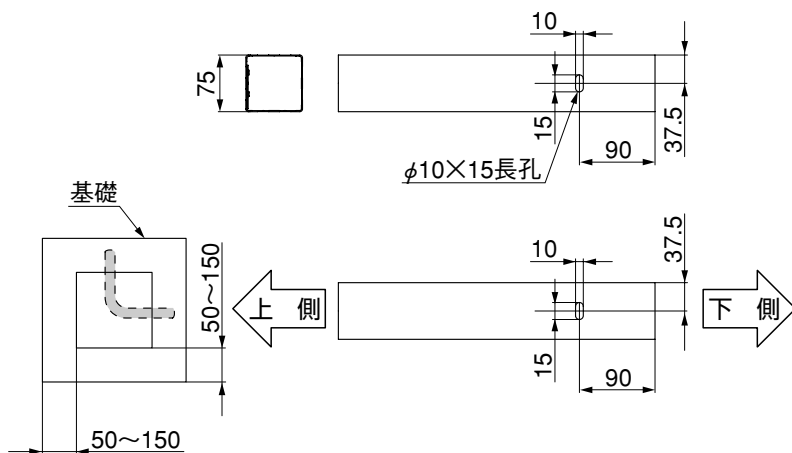


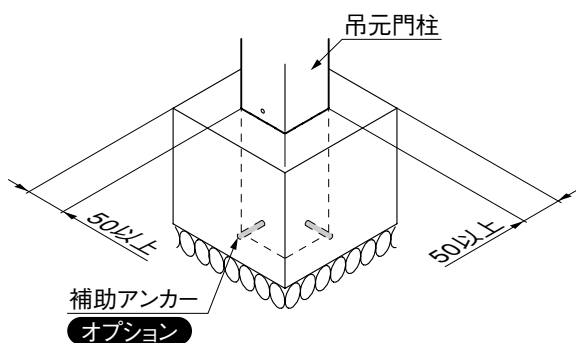
図4-1

- ① 補助アンカーを取付ける面に $\phi 10 \times 15$ 長孔を現場加工してください。

ポイント

- 隣り合う2面に加工してください。(図4-1参照)

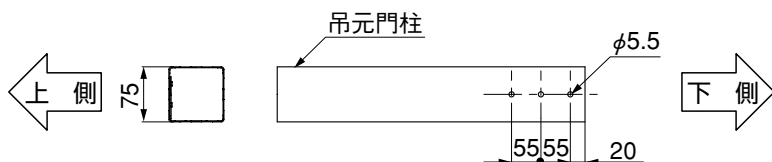
(2) 吊元門柱の埋込み



- ① 図のように吊元門柱に補助アンカーを通して、施工してください。

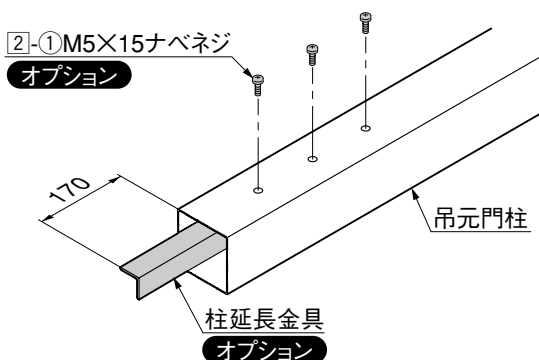
4-2 柱延長金具を取付ける場合

(1) 吊元門柱の加工



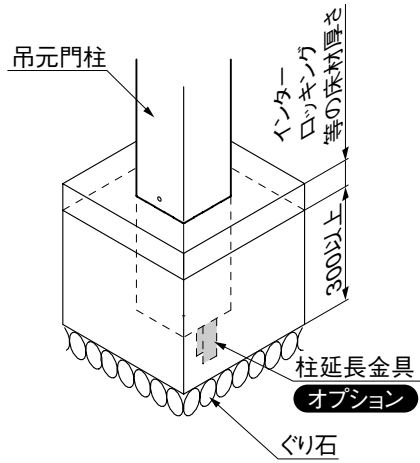
- ① 柱延長金具を取付ける面に図のように $\phi 5.5$ の孔を現場加工であけてください。

(2) 柱延長金具の取付け



- ① 吊元門柱に柱延長金具を 2-① で固定してください。

(3) 吊元門柱の埋込み



① 図のように基礎を掘って、吊元門柱を施工してください。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

INDEX